

環境報告書（第二十回）

第98期（R4年度・R.4/5/21～R.5/5/20）

令和5年6月15日
環境管理責任者

当社足立生産センターにおける環境活動も、スタート以来丸19年を経過致しました。お陰様を持ちまして、関係各位のご支援をいただき、一定の成果を得ることが出来ましたこと、深く感謝する次第です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いたします。当社足立生産センターにおける本年度(98期)環境マネジメントシステム(EMS)の状況についてご報告いたします。

■ 目的・目標活動結果

著しい環境側面	環境への影響等	是正措置等
損紙の発生	地球環境(森林資源)を守る	昨年来作業手順書・基準書の改訂を順次実施し、写真や図なども取り入れより見やすく分かり易くすると同時に、作業前の読み合せや確認を徹底し作業にあたったが、僅かながら目標を達成することが出来なかった。今後も創意工夫を図りながら継続して取り組んでいく。
電気を使用する ガスを使用する	有限なエネルギー資源を有効に使う	電気については、定期的な設備点検の励行や、効率的な作業スケジュールの工夫などを図った結果、目標を達成することが出来た。ガスについては、メーカーと相談し湯きが早いインキへの改善を図り、乾燥装置の温度設定を従来よりも下げることが出来使用量の削減にも繋がり目標を達成することが出来た。今後も創意工夫を図りながら取り組んでいく。
廃インキの削減	廃棄物を削減し省資源に努める (プラスの環境側面)	インキの在庫管理、適正発注、残インキの再利用などを引続き取り組んだ結果、目標を達成することが出来た。今後も引続き取り組んでいく。
ロス・ミスによる 用紙使用量の削減	廃棄物を削減し省資源に努める (プラスの環境側面)	目標達成のため作業ごとに基準書の読み合せや打合せを行い取り組んだ結果、ロス・ミス件数も減少し目標達成に繋げることが出来た。今後も引続き取り組んでいく。
廃棄物の削減	廃棄物を削減し省資源に努める (プラスの環境側面)	資源の有効活用と廃棄物のリサイクル化をさらに推進してきた。また、昨年来廃棄物を出来るだけ圧縮して処理業者に出すなどの工夫も引続き併せて行った結果、目標を達成することが出来た。今後も創意工夫を図りながら取り組んでいく。

■ 主な活動状況

- 当社は印刷オペレータを始め全社員に対して、積極的に外部教育機関へ派遣し、印刷技術・知識の向上を図っている。同時に環境活動(力量)へのスキルアップ改善へもつなげ、損紙削減活動等にも取り組んでいる。
- 目的・目標の達成状況は数値管理の他、5W1Hのプログラム(進捗状況管理型)を作成し継続している。進捗状況管理型の継続により、結果や進捗状況の“見える化”がより進められ、社員の意識向上に繋がっている。
- 「資格取得計画表」を作成し、社員が必ず資格や技能を取得することを目指している。より高度な技能や知識を習得することで生産性の向上が図られ、併せて環境目標達成へ繋がられるよう取り組んでいる。

以上のような活動を今後とも展開し、環境活動に貢献できる会社を、更に目指していきます。